

各 位

上場会社名	株式会社 SBR
代表者	代表取締役社長 高梨 宏史
(コード番号)	2759)
問合せ先責任者	総合企画部副部長 佐野 友義
(TEL	03-5733-4492)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,827	△49	△48	△97	△149.59
今回発表予想(B)	3,679	85	102	223	342.12
増減額(B-A)	△147	135	151	321	
増減率(%)	△3.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	5,536	△486	△460	△872	△1,692.35

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,646	50	65	0	0.65
今回発表予想(B)	7,160	50	65	223	312.84
増減額(B-A)	△485	0	0	223	
増減率(%)	△6.4	0.0	0.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	9,840	△447	△414	△958	△1,859.93

修正の理由

(1) 第2四半期(累計)(平成22年4月1日～平成22年9月30日)業績予想の修正理由

売上高につきましては、当社のターゲット顧客である小企業の業況が、依然として厳しい経済環境に晒されており、需要喚起に苦戦している状況であることから、当社グループの主力商材でありますITパッケージの収入が想定を下回り、3,679百万円(期初予想比147百万円減)となる見込みであります。

しかしながら、営業利益につきましては、組織規模の適正化の進展及び全社的なローコスト・オペレーションの徹底により、販売費及び一般管理費が大幅に圧縮されたことに伴い、売上高の減少にもかかわらず、85百万円(期初予想比135百万円増)となる見込みであります。経常利益につきましても、営業利益の増加に伴い、102百万円(期初予想比151百万円増)となる見込みであります。

なお、四半期純利益につきましては、経常利益の増加により、また、不動産担保付債権及び営業立替金債権等の回収が想定以上に進捗したことに伴い、当該債権の回収に伴う貸倒引当金の戻入203百万円を実施し、特別利益を計上した結果、223百万円(期初予想比321百万円増)となる見込みであります。

(2) 通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)業績予想の修正理由

売上高につきましては、当社のターゲット顧客である小企業の業況が、下半期も依然として厳しい経済環境に晒される可能性があり、需要喚起の状況が不透明であることから、当社グループの主力商材でありますITパッケージの収入を保守的に見積もった結果、7,160百万円(期初予想比485百万円減)を見込んでおります。

しかしながら、営業利益及び経常利益につきましては、下半期においても引き続き組織規模の適正化及び全社的なローコスト・オペレーションの徹底を推進し、販売費及び一般管理費の圧縮を進めていくことにより、期初予想と同水準の50百万円及び65百万円を見込んでおります。

なお、当期純利益につきましては、第2四半期累計期間において、貸倒引当金の戻入を実施することによる特別利益を計上したことに伴い、223百万円(期初予想比223百万円増)を見込んでおります。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により、実際の業績は記載の予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上